

春の褒章・叙勲

政府は、4月28日付けで春の褒章受章者を、29日付けで春の叙勲受章者を発表しました。

市内では次の皆さんが受章されました。

黄綬褒章【業務精励】



多田 信男 さん
(成田・79歳)

20歳で酒造りの世界に入り、31歳で南部杜氏になってから48年間、各地の蔵で日本酒に向き合いました。平成9年から現在まで磯自慢酒造(静岡県)の杜氏。手掛けた酒は全国や国際的な鑑評会で最高賞を受賞したほか、主要国首脳会議の晩さん会の乾杯酒にも採用されました。受章について「蔵元の理解や家族の協力のおかげ」と喜びました。

瑞宝双光章【消防功労】



菊池 一人 さん
(和賀町堅川目・69歳)

昭和52年に和賀町消防団に入団。平成26年から令和3年までの3期7年、北上市消防団長を務め、団員の士気高揚を念頭に指揮を執りました。令和元年からは岩手県消防協会副会長と日本消防協会評議員を兼任。「少しでも団や協会の役に立てたなら幸い。団が最高賞の『まとい』を受賞することにも道筋を付けられた」と振り返りました。

瑞宝単光章【消防功労】



菅野 幸藏 さん
(口内町・74歳)

昭和44年に旧北上市消防団に入団し約40年間、地域の消防活動を担いました。地元を中心部で起きた大火災では、先頭に立って放水。平成17年から20年までは北上市消防団副団長を務め、若手の指導も精力的に行いました。仲間とのつながりを大切に、「長く続けられたのは先輩や後輩との付き合い、妻の支えがあつてこそ」と語りました。

瑞宝単光章【統計調査功労】



島 正紘 さん
(本石町・81歳)

昭和51年に商業統計調査員を務めて以来、工業統計調査や国勢調査、農林業センサス調査など通算67回の調査に携わりました。プライバシー意識の高まりや、単身・アパート世帯の増加で居住様式が変化し調査が厳しくなる中、円滑な調査に尽力しました。受章について「家族や地域の皆さんの協力もあり長く続けることができた」と感謝を述べました。